

地域計画（案）の縦覧の結果

●提出された意見の件数：1件（耕作者1件）

（意見提出順）

No.	意見提出者	対象地区	意見	考え方	修正の有無
1	耕作者	下田木赤城地区、毛塚地区	「基盤整備事業への取組」について、現時点では具体的な方策を記述することは難しいと思いますが、構想としてでも行政主導で進めていただきたいと思います。 それは、宮毛田土地改良区の水利設備の更新事業です。水路の劣化が進んでいるとともに、取水堰、樋管設備は耐用年数を超え、遠くない将来に農業水利確保に致命的な事故に至る危険をはらんでいます。この工事を行うのは、理屈としては土地改良区なのでしょうが、耕作者が減り続ける中で、賦課金の増額を伴う設備の更新事業費の確保は不可能と考えます。とりわけ、水稻にあっては収入の見込みのない耕作を、諦めのなかで継続している実態では、新たに金銭的な負担が求められれば、土地改良区からの脱退、離農へと流れることは容易に想像できます。 農業者の努力では叶わない現実をご理解いただき、農業基盤の維持には、積極的な行政の介入を望みます。	水稻に不可欠な水の確保については、他の地域でも同様のご指摘をいただいております。 現在、各地域にて交付金等を活用した水利施設の管理に取り組んでいただいておりますが、交付金等を維持に使わざるを得ず、更新まで手が回りきらない状況もあるようです。 水利施設の維持管理には、地権者と耕作者、両者の負担と協力が必要であるため、土地改良区からの脱退が進まないよう、引き続き交付金等の活用に向けた支援を進めてまいります。	無